



丸小だより

～実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

横浜市立丸山台小学校 学校だより

No. 3

令和3年5月31日(月)

連続した学びを支えるこれからの時代の学習環境づくり ～GIGA スクール構想のはじまり～

副校長 野村 光

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初めての緊急事態宣言を受けて令和2年度の学校が長い休校期間に入ったのは今年の4月でした。それからおよそ2か月の間、学校から子どもたちの姿が消えました。子ども・保護者と学校・担任とのコミュニケーションツールは電話と、何度か家庭へ配付した課題のプリント類でした。学校からの情報は、メール配信や学校ホームページで発信することはできましたが、家庭への一方向の発信でした。

その後、分散登校が始まりました。「マスクの着用」「ソーシャルディスタンス」「3密を防ぐ行動」そして、「アルコール消毒」…学校ではこれまでになかった取組や対応の中、一つ一つを確かめながら漸進的に活動が始まりました。行事によっては、中止にしたり、規模を縮小して開催したり、保護者や来賓の参観に制限を設けたり等々、各ご家庭や地域の理解を得ながら進めてきました。子どもたちの安全や健康を第一に考えると「いつもと同じ」にはいかず、学校の新しい生活様式の中では様々な活動を見送ることの多い1年だったかもしれません。

相変わらず収束が見えないコロナ禍の中、副校長として本校での二度目の春がスタートしました。令和3年度は感染防止に努めつつ、できる限り子どもたちの学びを止めないための工夫を凝らし、これまでの経験を改善に繋げ、教育活動が進められています。

5月、一人一人にiPad 端末を貸与しての活動準備がいよいよ始まりました。先日、5年生では「GIGA 開き」が行われました。教室に設置された保管庫の中の自分の端末を一人一人が受け取りました。ICT 支援員と一緒にログイン方法を学んだあと、手元の端末画面に担任からのメッセージが届くと、子どもたちはマスク越しに感嘆の声をあげていました。新しい時代の学びの始まりを感じました。

感染症拡大防止のための様々な制限付きの学校生活が始まってから1年余りが過ぎました。その間に、学校の ICT 環境は急進的に進みました。学校は、子どもたちの学びを止めないように、そして昨年ではできなかった一人一人の子どもや保護者と、双方向のつながりを築いていけるように ICT 機器という新しい「道具」を活用していくための組織改革と環境整備の充実に努めていきたいと思えます。

今年の春、校庭のレンガ花壇には今年の5、6年の美化委員会が育てた菜の花とチューリップが色とりどりの花を咲かせました。先日、リーダーを受け継いだ今年の6年生が中心となり、次の季節の花々、ヒマワリとコスモスの種をまきました。春から夏へ、そして卒業した6年生から次の6年生へ、学校の様々な場面で、子どもたちの学びのつながりを確実に感じています。

まん延防止等重点措置の延長を受け 感染症拡大防止のために

新型コロナウイルス感染症に関しては、次々と変異株の発症が伝えられています。何度かお伝えしておりますが、次の場合は、担任、もしくは副校長までご連絡をお願いいたします。

- ・児童本人、もしくは同居する方が濃厚接触者となった場合、もしくは PCR 検査等を受けることになった場合
- ・児童本人、もしくは同居する方が陽性と判定された場合

【丸山台小学校 045-843-9631】